

## サステナビリティに関するマテリアリティ(重要課題)の見直しについて

株式会社遠藤照明(代表取締役社長 遠藤 邦彦)は、サステナビリティ経営を推進するにあたり、2022年に優先的に取り組む重要課題(以下、マテリアリティ)を策定し取り組んでまいりましたが、昨今の外部環境の変化を踏まえ、マテリアリティの見直しを実施しました。

当社が特に注力すべき最重要マテリアリティとして再特定したのは以下の6項目となります。

新たに特定した最重要マテリアリティ	
環境 Environment	より高効率な照明の追求
	環境に配慮した資源の活用 <sup>(注)1</sup>
社会 Social	新たな照明ソリューションの創造
	付加価値・ソリューション創造に応える人材
	社員の活躍が組織の持続的成長を生み出す組織づくり
ガバナンス Governance	強固なガバナンス体制の整備 <sup>(注)2</sup>

(注)1 「より効果的な資源の活用」を、環境に対するより広義な取り組みとするため「環境に配慮した資源の活用」に名称変更しました。  
(注)2 企業全体として、ガバナンスの強化が重要と考え「強固なガバナンス体制の整備」を最重要マテリアリティに追加しました。

当社の全てのマテリアリティの他、サステナビリティに関する詳細については、以下の WEB サイトをご参照ください。

サステナビリティ

<https://www.endo-lighting.co.jp/about/sustainability/>

遠藤照明は、マテリアリティと中期経営計画を相互に連動させながら取り組みを推進し、「人と地球に優しい会社」として、持続的な成長と企業価値向上を目指してまいります。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社遠藤照明 管理本部 経営企画部 TEL:06-6267-7095 FAX:06-6267-7096